



十和田市観光物産センター 入場者 10 万人目を達成

3月13日、アートステーショントワダ内にある市観光物産センターの来館者が10万人を達成しました。市観光物産センターは平成23年11月にオープンし、土産品などの販売や観光情報の発信を行っています。10万人目の来館者は、根岸悦子さん（十和田市・59歳）で、市観光協会の今泉湧水会長から記念品が贈られました。根岸さんは「土産品を買うために時々来ています。まさか自分が10万人目になるとは」と喜んでいました。



市観光協会の今泉会長から記念品を贈られる根岸さん

三本木小児童がプルタブ回収 中央病院に車いすを寄附

3月12日、市立三本木小学校（小向秀男校長）の児童らが市立中央病院を訪れ、車いす1台を寄附しました。この寄附は、同小ボランティア委員会の呼び掛けで児童や近隣住人らの協力によりプルタブやペットボトルのキャップを3年かけて回収し、車いすに換えたものです。同委員長・安保舞美さん（6年）は「これからもボランティア精神を大切に頑張っていきます」と丹野弘晃院長に車いすを手渡しました。



（写真左から）ボランティア委員会の中橋諒くん、小嶋夏実さん、安保舞美さん（ともに6年）、丹野院長

かつての湧水地を新たに整備 キッコイジャの水開放

沢田地区にある湧水地が、十和田市名水保全対策協議会（竹島勝昭会長）により新たに広場として整備され、「キッコイジャの水」として開放されました。この湧水地は三日市稲荷神社にある湧き水で、長年放置されていました。そこで、同協議会が水質に問題がないことを確認し、むつ小川原地域・産業振興財団と市の助成を受け整備しました。3月9日に市民文化センターで行われた名水保全学習会で完成が報告されました。



市内5カ所目の湧水広場となった「キッコイジャの水」

十和田の地から旅立ち 北里大学学位記授与式

3月8日、市民文化センターで平成24年度北里大学学位記授与式が行われ、大学院修了生や獣医学部卒業生ら約400人が旅立ちの日を迎えました。式では、一人ひとり名前が読み上げられ、岡安勲学長より学位記が授与されました。また、卒業生を代表して生物環境科学科4年の貞本智広さんが「十和田は忘れることのできない第二の故郷となった。大学で学んだ精神を胸に、社会に貢献していきたい」と、答辞を述べました。



式終了後、会場外では在学生らが卒業生に花束を贈るなど祝福していました

ラビアンローズ（バラ色の人生を）！ 十和田西高卒業生をバラ焼きで祝福

2月28日、県立十和田西高校（堀米潤校長）で十和田バラ焼きゼミナールの木村長敏学長、畑中宏之舌校長らが卒業生66人に対し、十和田バラ焼きを振る舞い、旅立ちを激励しました。ボランティアスタッフとしてバラゼミと共に活動した赤坂由希奈さん（3年）は「バラゼミの活動は社会人になっても参加したい。後輩たちも経験を生かして、もっと十和田を盛り上げてほしい」と、話しました。



卒業生一人ひとりと握手を交わしながら、バラ焼きを手渡し旅立ちを見送りました

文化・芸能団体などが日頃の練習の成果を披露 十和田湖公民館まつり

2月24日、十和田湖公民館で第44回十和田湖公民館まつりが開催されました。舞台発表では十和田湖鶏舞くらぶによる沢田鶏舞、法奥小学校児童による民話劇、三日市町内会婦人部による舞踊など30演目が披露されました。会場内では、手芸や生け花、書道、陶芸作品など17団体による展示が行われたほか、ドーナツ、そばもちなどの販売も行われ、終始賑わっていました。



とわだこ中央保育園園児らによるヒップホップダンス

Pick up 東日本大震災から2年 市民らが復興支援イベントを開催

3月10日、市現代美術館で東日本大震災メモリアルイベント「Pray for the EARTH 2013」が行われました。これは、福島県浪江町から十和田市に避難している矢澤アイサさんと県南地方の住民らで構成される「もりもり青森」が東日本大震災の復興支援として主催したものです。会場では、青森県内の新鮮野菜を福島県に送る資金を募ったほか、被災地支援グッズの販売などが行われました。

3月11日は、駒っこ広場に市内に避難している被災者ら10人が集まり、持ち寄った手作りのキャンドル20個に追悼と復興への思いを込めながら、灯をともしました。キャンドルのうち10個は、海岸の石（有戸石）で作られたもので、野辺地町の男性が寄附しました。福島県南相馬市から避難している菊地和子さんは「福島県の状況は、2年経った今もそれほど変わっていません。十和田に避難して来ていろいろな人と触れ合うことができ、十和田に来て本当によかったと思います」と、話していました。



「Pray for the EARTH 2013」では、震災の追悼と復興への思いを込め、参加者が黙とうを行いました



手作りキャンドルに灯をともし、手を合わせる参加者